



全国一般評議会

闘争情報

No.255

2014. 3. 19

東京都千代田区六番町 1

TEL 03-3263-0441

FAX 03-5210-7422

フクシマを忘れない！ さよなら原発

3. 15脱原発集会・デモ行動



＜日比谷野外音楽堂で報告を聴き入る集会参加者＞

一脱原発を訴え、さよなら原発集会に多くの仲間が結集一

2011年3月11日の東日本大震災・東京電力福島第1原発事故から3年を迎えた3月15日に東京・日比谷野外音楽堂で脱原発の集会が開催され、5,500人が参加した。この集会は、「さよなら原発 1000万署名 市民の会」の主催によるもので、原水禁、各県平和センターや参加構成組合、市民団体、NGOなどが参加。自治労は本部の旗を構え関東を中心とした県本部・単組が結集。全国一般からも関東の地方労組を中心にして組合員が結集した。

集会では、呼びかけ人の大江健三郎さん（ノーベル賞作家）からは、福島の脱原発の闘いに加え川内原発（鹿児島県薩摩川内市）の審査を進める意向の原子力規制委員会を批判し、再稼働を許さない取り組みが訴えるなど、澤地久枝さん（作家）や秋山豊寛（宇宙飛行士）などからも熱のこもった訴えがそれぞれされた。

また、福島県の市民団体「ヒロアクション福島」の武藤さんからは、「3.11は忘れることができず、今も続いている。忘れたい、忘れるものか、とのせめぎ合いが続いている」と語りかけがされた。

最後は、鎌田慧（ルポライター）さんから、「この間、5人の首相が原発を止めようと言っている。これは私たちの運動の成果だ。3月下旬に川内原発再稼働の動きがある。その時は国会前で大行動をしよう」と呼びかけがされ集会は終了した。

一脱原発を訴え、デモ行進一

集会後は、参加者のみんなで「原発はいらない」「原発を即時廃止しろ！」「政府は責任を取れ」「再稼働を許すな」と声をあげ、シュプレヒコールをしながらデモ行進をし、日比谷野外音楽堂日比谷公会堂から、東電本店前、銀座を通り、JR東京駅近くまで歩き、道行く人々へのアピール行動を行った。

集会、デモ行進を通じて、脱原発世論を無視する安倍政権を許さず、フクシマにより、いまここから、ふたたび脱原発の声を、行動を、広げていくことの決意を全体で確認し合った。



＜シュプレヒコールをしながら脱原発を訴えデモ行進＞